北九州市民の会ニュース

第 42 回 福岡県人権問題研究集会開かれる

11 月 21 日（土）、10 時 30 分から福岡県粕屋町サンレイクかすや大ホールで、第 42 回福岡県人権問題研究集会が開かれました。福岡県全域から、人権問題研究集会実行委員会に参加する団体や行政関係者など 400 人を超える参加がありました。今回の集会は、三蜜を避ける、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などコロナウイルス感染症対策で参加人員も制限されるなど困難な状況の中の開催となりましたが、人権問題を考える熱心な方が数多く参加しおおきな成功を収めました。

集会は、宮浦さんの司会で始まり、主催者挨拶を三輪実行委員会委員長と川口福岡県地域人権運動連合会会長のあいさつの後来賓として地元粕屋町の箱田彰町長が「コロナ禍の広がりの中新たな人権問題も発生している。」等とあいさつの後、地元実行委員会の植山さんが記念講演講師岡野八代氏（同志社大学教授）のプロフィールを紹介。

壇上に立った岡野講師は、キレのいい語り口で、安倍政権を振り返る「ジェンダーと憲法９条・24 条の今日的意義」と題して私たちにわかりやすく語ってくれました。あっという間の９０分間でした。

昼食休憩の後、午後からは①社会問題分科会、②人権問題分科会の２つの分科会が開かれました。私は、社会問題分科会映画「ビリーブ　－未来への大逆転－」に参加しました。映画は、「１９７０年代のアメリカで、世紀の男女平等裁判に挑んだ女性弁護士の爽快な実話」で私に大きな感動を与えてくれました。

（堀田和夫氏ＦＢより）

三輪実行委員長 開会挨拶

みなさん、おはようございます。第 42 回福岡県人権問題研究集会にご参加いただきほんとうにありがとうございます。コロナ禍の下でも、このように一堂に会して、例年と同じ形式で今年も人権問題研究集会が開催されたことをご一緒に喜び、誇りにしようではありませんか。

今年が 42 回目であるということは、42 年前に、ここ粕屋町で第 1 回福岡県部落問題研究集会が開催されたということです。そのときの集会は「同和行政の是正、解同窓口一本化打破」を求めた集会として大成功しました。以来、42 年間、自主的・民主的な人権問題の研究集会として、回を重ねるごとに、県下の自治体職員のみなさん、教育機関の先生方、地域住民の支持を広め、地域社会の発展と住民自治の涵養をもたらす役割を果たし続けてきているのがこの人権問題研究集会です。本日も、ご案内のような魅了たっぷりのプログラムを準備することができました。多数の自治体職員のみなさん、先生方、地域住民の皆さんが、ともに学び、ともに語りあって、豊かな地域社会をつくるために、私たちの絆を深めることができるということは、感動的なことだと思います。ところが今、「戦争する国づくり」に暴走した安倍政権をひきついた管政権は、さしたる理念もなく、「まず自助だ！」とさけび新自由主義的自己責任社会を継続・強化しようとしています。

みなさん、私たちが 8 年まえに定めた「地域人権憲章」（2012 年 11 月 18 日）には、次のように書かれています。「日本国憲法は、国民が自分たちの自由や権利を宣言し、政府が独裁的な政治をしないためのものです。国家が上からの目線で国民の自由や権利を認めるものではありません」と書かれています。今こそ、私たちは、地域づくりの羅針盤として私たちがつくり出した「地域人権憲章」が指し示す方向を目指し、住民自治による豊かな地域づくりに参加していこうではありませんか。

平和な世界をつくるのも、９条を輝かせ世界平和に貢献する日本をつくるのも、住民自治で一人ひとりが幸せに暮らす地域社会をつくるのも、私たちひとりひとりの意志と能力の結集にかかっています。これが民主主義の力です。今日一日大いに学び、互いの絆を深め、憲法が息づき一人ひとりが輝く地域社会づくりに参加していこうではありませんか。ご挨拶といたします。

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒 803-0817　小倉北区田町 13-21 田町ビル３Ｆ
TEL 093-592-5000 FAX093-571-4346
http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail:koe@siminnokai.com

北九州市議会12月定例会が開会中

会派質疑　**12/1(火)** 午前10時15分

田中　光明 議員(60分)

1、コロナＰＣＲ検査
2、介護事業所のサービス継続
3、市職員の人件費削減

一般質問　**12/1(火)** 午後1時30分

出口　成信 議員(30分)

1、コロナ休業支援金の改善
2、コロナ禍における学生支援
3、合流式下水道区域の浸水対策

一般質問　**12/2(水)** 午前11時

藤沢　加代 議員(30分)

1、城野遺跡「史跡広場」について
2、国民健康保険料のコロナ減免
3、西鉄筑豊バス後藤寺中谷線の存続へ

一般質問　**12/3(木)** 午前１０時

高橋　都 議員(30分)

1、門司港複合公共施設整備事業
2、コロナ禍における事業者支援
持続化給付金、家賃支援金

一般質問　**12/3(木)** 午後２時

藤元　聡美 議員(30分)

1、子ども医療費の一部負担について
2、小中学校の少人数学級実現を
3、町内会の防犯灯電気料金の軽減を

一般質問　**12/4(金)** 午前11時30分

山内　涼成 議員(30分)

1、特別支援学校の設置基準
2、芦屋航空自衛隊の騒音問題
3、保健所の機能強化等について

一般質問　**12/4(金)** 午後２時

荒川　徹 議員(30分)

1、地球温暖化防止対策について
2、高齢者のゴミ出し支援
3、市営住宅について

一般質問　**12/4(金)** 午後2時45分

石田　康高 議員(60分)

1、新型コロナウイルス感染対策
2、36年間の議会活動を通じ、今後の
市政運営に生かすべき教訓と問題点

中学生 2021年4月～ 高校生 2022年1月～ まで医療費助成拡大へ

2022年度より　子ども医療費支給制度

高校生まで拡充へ

市民と日本共産党の運動実る

北九州市が１１月２６日、子ども医療費の助成制度を、２０２２年１月から高校３年生までに拡充することを発表しました。

福岡県の助成措置拡充によって、北九州市では２０２１年４月から、中学生の通院も助成対象となることが確定していますが、これをさらに広げるものです。

市民と日本共産党が力を合わせて、子ども医療費助成対象の拡充を求めて運動してきたことが実ったものです。

日本共産党がこの４年で子ども医療費の拡充を求めた質問

本会議１１回／予算・決算特別委員会７回／その他常任委員
本会議と特別委員会で高校卒業までの拡充を求めたのは８回

改正内容

1、助成対象
- ●２０２１年４月から通院の助成対象を、中学３年生までに拡充
- ●２０２２年１月から通院・入院の助成対象を、高校３年生まで（１８歳に達する日以後の最初の３月３１日まで）に拡充

2、自己負担
- ●通院の自己負担額は、中学生・高校生ともに１医療機関につき、１カ月当たりの自己負担額を１６００円までにする
- ●高校生の入院については、自己負担なしにする

≪現行≫

	通院	入院
３歳未満	自己負担なし	自己負担なし
３歳以上就学前	月600円まで	
小学生	月1200円まで	
中学生	助成なし	
高校生		助成なし

⇒

≪改正後≫　□が改正部分

	通院	入院
３歳未満	自己負担なし	自己負担なし
３歳以上就学前	月600円まで	
小学生	月1200円まで	
中学生	2021年4月から月1600円まで	
高校生	2022年1月から月1600円まで	自己負担なし

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために　市議会ニュース　2020年 11・12月号外

発行　日本共産党北九州市会議員団　北九州市小倉北区城内 1-1　☎093-582-2646・FAX4113
ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団　http://www.jcp-kitakyu.jp/

北九州平和ネットが宣伝行動

平和をあきらめない北九州ネットは、11 月 26 日１８時から小倉駅前広場（ペデストリアンデッキ周辺）で、菅首相による学術会議任命拒否問題、安倍元首相の桜を見る会問題を中心に戦争法廃止と憲法を守る運動の強化を訴える宣伝行動を取り組みました。宣伝行動には、新日本婦人の会や民主的な弁護士、労働組合員等２７人が参加し元気一杯チラシの配布、署名の集約活動を展開しました。リレートークは、社民党の南川さん、北九州地区労連永冨議長、日本共産党高瀬県議、事務局員の三浦さん、池上事務局長がマイクを握りました。

（堀田和夫氏ＦＢより）